

認定心理士認定委員会より

1. 認定委員会について

2010年度第6回(通算122回)の認定委員会が、2010年12月11日の土曜日に開催されました。12月2日までに受け付けた616件について審査し、536件について合格とし、70件を保留、10件を不合格としました。この結果、2010年度12月末までの取得者の合計は2236名(認定委員会で合格とされた2489名)で、取得者累計が3万2495名となりました。過去5年間における年間取得者は3000名を超えておりました(2008年度がピークで3620名)が、今年度の取得者数は若干それを下回る可能性があります。年々、取得者数が拡大してきた過去の実績が、ここにきて頭打ち状態になっています。こうした点を考え、取得者へのサービスとして、後述する研修会の充実を掲げて、実践してきております。

なお、当委員会に12の大学からカリキュラムの検討依頼があり、担当委員会で検討したことが報告されました。カリキュラム検討の依頼数はかなりの数になっていますので、大学の関心が認定心

理士から離れているわけではないと思われませんが、実質的な学生数の減少が想定されますので、認定心理士取得者の人数の減少は今後起こってくると思われま

2. 研修会について

研修会については小委員会で検討し、開催予定が決まりましたのでお知らせいたします。全国各地で開催できるようにしたいと思っておりますが、2011年度は、かなり開催地域が広がったと思います。

第1回 2011年6月4日 開催地：東京 テーマ「企業従業員のストレス対策と Well-being 向上を目指して」

第2回 2011年7月2日 開催地：東北 テーマ「社会に生きる行動分析学」(行動分析学会研究教育推進委員会企画)

第3回 2011年9月15日～17日のいずれかの日 開催地：日本大学(第75回大会時) テーマ「(未定)」

第4回 2011年9月18日、19日のいずれかの日 開催地：名古屋大学 テーマ「(未定)」(社会心理学会との共催)

第5回 2011年11月または2012年3月 開催地：沖縄 テーマ「(未定)」(沖縄心理学会との共催)

以上のように、研修会は地方学会との共催が多くなっています。こうした企画は今後も採用していきたいと思っています。

なお研修会を企画している認定心理士研修小委員会では、研修会において、参加者に研修証明書と資料を配布する際に使用するファイルをクリアファイルとし、そのデザインを新たにすることが決定されました。

3. 教科書作成について

認定心理士教科書作成小委員会では執筆原稿の修正依頼を行い、改訂原稿が集まりはじめています。編集作業は今年度中に終了予定です。

4. 認定委員会について

認定委員会では土曜日の午後数時間かけて書類を審査し、認定作業を行っています。書類審査では過去の資料を参照することも多く、きわめて煩雑な作業です。簡便に資料を参照できるシステムの構築が急務となっています。

(日本心理学会認定担当常務理事・日本大学教授 横田正夫)

編集後記

今号の特集は「試験からみた心理学」でした。私も入試問題を出題した経験があり、その時には高校の教科書に出てくる心理学の知識があまりに古くて偏っていることにびっくりする一方で、「これがいま社会から見えている心理学のひとつの姿なんだなあ」という感慨もありました。心理学がますます社会に役立ち、理解されていくことで、教科書の心理学知識も次第に変わっていったらよいと思います。(渡邊芳之)

編集委員(五十音順)

編集委員長	仲真紀子	北海道大学
編集委員	青山謙二郎	同志社大学
	久保南海子	愛知淑徳大学
	櫻井研三	東北学院大学
	三宮真智子	大阪大学
	柴崎光世	明星大学
	杉浦義典	広島大学
	深谷優子	東北大学
	宮本聡介	明治学院大学
	森岡正芳	神戸大学
	渡邊芳之	帯広畜産大学
担当常務理事	箱田裕司	九州大学

心理学ワールド [53号] 2011年4月15日発行

年4回発行(1月、4月、7月、10月)

発行人—繁 榎 算 男

編集・発行—公益社団法人 日本心理学会 〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル TEL 03-3814-3953

表紙デザイン—虎尾 隆 印刷・製本—銀河

制作—(株)新曜社